

令和2年 台風第9号について

～ 非常に強い台風が沖縄本島地方に接近。嚴重に警戒 ～

大型で強い台風第9号は、発達しながら北よりに進み、非常に強い勢力で9月1日未明から明け方にかけて、沖縄本島地方にかなり接近する見込みです。

台風が接近する沖縄本島地方では、31日夜のはじめ頃から9月1日夜遅くまでの長時間にわたり暴風となる見込みで、暴風や高波、高潮、大雨による重大な災害が発生するおそれがあります。

県民のみなさま、市町村が発令する避難情報にも留意して、風が強まる前に頑丈な建物の中に移動するとともに、屋内では窓から離れるなど暴風に嚴重に警戒してください。

1 台風の現況と予想

大型で強い台風第9号は、31日9時には沖縄の南の北緯22度25分、東経128度25分にあつて、1時間におよそ30キロの速さで北へ進んでいます。中心の気圧は955ヘクトパスカル中心付近の最大風速は40メートル、最大瞬間風速は60メートルで中心から半径150キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

台風第9号は、発達しながら沖縄の南を北上し、9月1日にかけて非常に強い勢力で沖縄本島地方に接近する見込みです。

2 予想される風や波、雨量などの防災事項

沖縄本島地方では、台風の接近で風が強まり、波も高まる見込みです。台風が最も接近する1日未明から1日明け方にかけて、久米島を中心に最大風速50メートル、最大瞬間風速70メートルの猛烈な風が吹く見込みです。暴風やうねりを伴った高波に嚴重に警戒してください。

沖縄本島地方の雨量は、多い所で31日から9月1日は1時間に80ミリの猛烈な雨が降り、2日にかけて大雨となる見込みです。予想される24時間雨量は、沖縄本島地方の多い所で1日12時までの24時間で300ミリ、その後の2日12時までの24時間で200から300ミリの見込みです。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重な警戒が必要です。

沖縄本島地方では、31日夕方から9月1日にかけて潮位が高くなる見込みです。さらに31日夜のはじめ頃から1日にかけては警報基準を超える高潮が予想されます。海岸や河口付近の低地では高潮による浸水や冠水のおそれがありますので嚴重に警戒してください。

風や雨が強まり外での行動が困難となる可能性があります。市町村が発令する避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。危険な場所には近づかないでください。過去に土砂災害や浸水害、洪水害、高潮害などが発生した地域は特に警戒してください。

過去の台風災害から、最大瞬間風速60メートル以上の風が吹くと、家屋の倒壊や車両の横転・破損、広範囲な電柱の倒壊、倒木による道路寸断や建物の損壊、長時間の停電、窓ガラスの破損等が予想されます。また、強風による転倒やドア開閉時の指の負傷等の人的被害も発生しています。

3 具体的な台風対策

(家の外の備え)

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- ・高潮と高波、大雨が重なり、海岸付近の低い土地の浸水、港湾内での船舶の被害のおそれがあります。早めに対策しましょう。

(家の中の備え)

- ・非常用具を確認しましょう。(懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池式)、救急用品など)
- ・室内からの安全対策をしましょう。(窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを張ったり、カーテンやブラインドを下ろすなど)
- ・水の確保をしましょう。(断水に備えて飲料水を確保したり、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど)
- ・非常用食品を準備しましょう。(乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など)

(台風が接近しているときは)

- ・雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故などが発生します。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにしましょう。
- ・台風が接近し暴風となると、風により物が飛ばされたり、飛んできた物にぶつかったり、車が転倒したりするおそれがあります。また、風に煽られてドアや扉に手や指を挟まれるなどの被害も発生します。不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、海上や海岸付近では台風接近前から波が高くなり、台風が通過した後もしばらくは波が高いことが多いです。台風接近時は海上や海岸付近に高波を見に行くなど危険な事はやめましょう。
- ・避難とは[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ・危険な場所にいる方は、市町村から出される避難情報に従い、風や雨で外が危険な状況になる前、また、明るいうちに避難しましょう。
- ・避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ・市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には、市町村ホームページ等で避難場所や経路を確認しましょう。
- ・避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
- ・日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
- ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。
- ・気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生するおそれがあるときには、「台風情報」や「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオ、気象台ホームページから最新の情報を入手してください。

(参考) 過去の災害状況



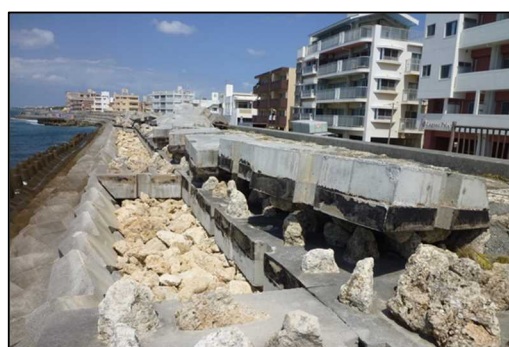
暴風により横転した車(気象台職員撮影)



暴風により倒壊した電柱(気象台職員撮影)



高波により沈没した船(気象台職員撮影)



高波と高潮によりひっくり返ったコンクリートブロック(嘉手納町職員)

左上、右上：2003年台風第14号(マエミー)(宮古島：最大風速 38.4 m/s、最大瞬間風速 74.1 m/s)

左下：2015年台風第15号(石垣島：最大風速 47.9m/s、最大瞬間風速 71.0m/s)

右下：2018年台風第24号の被害状況(那覇：最大風速 34.0m/s、最大瞬間風速 53.1m/s)

観測史上1～5位の値(年間を通じての値)

那覇(沖縄県)

要素名/順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	49.5 東北東 (1949/6/20)	47.0 南西 (1957/9/26)	46.4 北北東 (1949/7/23)	45.2 北 (1959/11/13)	45.1] 西北西 (1948/10/4)	1927年5月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	73.6 南 (1956/9/8)	61.4 南 (1957/9/26)	61.2 西北西 (2012/9/29)	58.9 南南東 (1999/9/22)	58.2 北 (1961/10/2)	1953年8月
日最低海面気圧 (hPa)	936.3 (1956/9/8)	939.7 (2007/7/13)	940 (1954/8/15)	940.5 (1961/10/2)	940.6 (1930/7/17)	1890年7月

久米島(沖縄県)

要素名/順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	43.7 南東 (1968/9/23)	42.6 南南東 (1961/10/3)	39.6 南東 (2016/10/4)	36.5] 南東 (1993/9/2)	35.2 南東 (1974/7/5)	1958年7月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	62.8 南 (2007/9/15)	62.4 南東 (1968/9/23)	60.8 南南東 (1961/10/3)	59.3 北東 (2007/9/14)	56.8 南東 (2016/10/4)	1958年7月
日最低海面気圧 (hPa)	928.1 (1993/9/2)	939.3 (2007/9/15)	940.2 (1961/10/3)	941.1 (1991/7/27)	947.9 (1968/9/23)	1958年7月

<参考資料>

◆雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受ける イメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや 強い雨	ザーザーと 降る。	地面からの 跳ね返りで 足元がぬれる。 	雨の音で話し声が よく聞き取れない。 	地面一面に水たまり ができる。 	
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。 	寝ている人の半数 くらいが雨に気が つく。 	道路が川のように なる。 	ワイパーを速くしても見づ らい。 
30~50	激しい 雨	バケツを ひっくり返 したように 降る。	高速走行時、 車輪と路面の 間に水膜が生 じ、ブレーキ が効かなくな る。(ハイド ロプレーニン グ現象) 			
50~80	非常に 激しい 雨	滝のように 降る。 (ゴーゴー と降り続 く)	傘は全く役に立たなく なる。 	水しぶきであたり 一面が白っぽくなり、 視界が悪くなる。 	車の運転は危険。 	
80~	猛烈な 雨	息苦しくな るような圧 迫感がある。 恐怖を感じる。				

◆風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) おおよその時 速	風の強さ (予報用 語)	速さの 目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	瞬間 風速 おおよその (m/s)
10~15 [~約50km/h]	やや 強い風	一般道路 の自動車	風に向かって 歩けにくくなる。 傘がさせ ない。 	樹木全体が 揺れ始める。 電線が揺れ 始める。 	道路の吹流し の角度が水平 になり、高速 運転中では横 風に流される 感覚を受ける。 	種(とい)が揺れ 始める。 	20
15~20 [~約70km/h]	強い風	高速道路 の自動車	風に向かって 歩けなくなり、 転倒する人も 出る。高所 での作業はき わめて危険。 	電線が鳴り 始める。看板 やトタン板が 外れ始める。 	高速運転中 では、横風に 流される感覚 が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材 がはがれるもの がある。雨戸や シャッターが揺 れる。 	30
20~25 [~約90km/h]	非常に 強い風		何かにつか まっていな いと立ってい られない。飛 来物によって 負傷するおそ れがある。 	細い木の幹が 折れたり、根 の張っていない 木が倒れ始め る。看板が落 下・飛散す る。道路標識が 傾く。 	通常の速度で 運転するのが 困難になる。 	屋根瓦・屋根葺材 が飛散するもの がある。固定さ れていないプレ ハブ小屋が移動 、転倒する。ビ ニールハウスの フィルム(被覆 材)が広範囲に 破れる。 	40
30~35 [~約125km/h]		猛烈な風	屋外での行動 はきわめて 危険。 	多くの樹木 が倒れる。 電柱や街灯 で倒れるもの がある。ブ ロック壁で倒 壊するもの がある。 	走行中のトラ ックが横転す る。 	固定の不十分 な金属屋根の 葺材がめくれ れる。養生の不 十分な仮設足 場が崩落す る。 	50
35~40 [~約140km/h]	特急電車				外装材が広 範囲にわた って飛散し、 下地材が露 出するもの がある。 	60	
40~ [約140km/h~]					住家で倒壊 するもの がある。鉄 骨構造物で 変形する ものがある。 		